

王子労基協会報

2020年
第239号

(公社)東基連王子労働基準協会支部

〒114-0022 北区王子本町1-22-3 王子工業会館内

TEL 03-5924-3047 FAX 03-5924-3048



(浮世絵に描かれる北区) 雪のあした王子詣の図 (歌川国貞 1827年)

表紙の浮世絵は、六代目・市川海老蔵の宮参りを描いた作品です。背景には雪景色の王子稲荷社を描き、手前に九人の歌舞伎役者が描かれています。右画面、手前に三代目・坂東三八、その後ろ、右から二代目・岩井 衆三郎と二代目・坂東蓑助、中央手前に六代目・市川海老蔵、その後ろ、右から七代目・市川団十郎と初代・岩井紫若、左画面、石段下に幫間の桜川新考、その後ろ、右から二代目・中村芝翫と五代目・瀬川菊之丞が、それぞれ描かれています。王子稲荷社と役者絵の関わりは深く、この作品の他にも「王子稲荷参詣群集の図」「俳優英雄王子の灌漑」などがあります。(北区飛鳥山博物館所蔵)

目次

- * 目次・行事予定 1
- * 新年のご挨拶 2
- * 協会事業報告 4
- * 監督署だより 6
- * 会員事業場紹介 8
- * 協会だより・編集後記 11
- * 会員企業広告 12

行事予定

謹んで新年の

お慶びを申し上げます。

- * 2・7 会報第239号発行
- * 3月 第240号編集会議
- * 4・6 新入社員教育研修
(共催：上野労働基準協会支部)
- * 5月 第1回正副支部長会議・幹事会
- * 5・20 第2回支部定期総会

年頭のご挨拶

(公社) 東基連 王子労働基準協会支部長 高坂 範之



新年明けましておめでとうございます。会員企業の皆様におかれましては、令和2年の新春を、健やかに、明るく希望に満ちて迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

当王子労働基準協会支部の令和元年度事業計画につきましては、王子労働基準監督署の格段のご理解とご協力を賜る中で順調に推進されており、あらためまして皆様の日頃のご支援、ご協力に厚く感謝を申し上げる次第です。

ご周知のように、今年の干支は庚子（かのえ・ね）です。十二支では1番目の子（鼠）です。福の神（大黒天）の使いとして吉兆や幸運をもたらす鼠は、多産なことから子孫繁栄の象徴であり、五穀豊穡の俵鼠などとしても親しまれています。縁起の良い鼠にあやかり、皆さんにとって、今年が更なる飛躍の年となることを心よりお祈り申し上げます。

昨年は、平成からのバトンタッチ、新しい時代『令和』の幕開けの年でした。新天皇の即位で日本中が祝意に満ち、ラグビーのワールドカップで日本列島が大いに盛り上がり、また吉野彰氏のノーベル化学賞の受賞など多くの感動や喜びを享受することができました。今年も自国開催のオリンピック・パラリンピックも行われます。私にとっては2度目の東京オリンピックを目にすることになるのですが、前回大会時はまだランドセルを背負い始めたころの出来事で、とても記憶に薄いものでした。

さて、今年はどうな一年になっていくのでしょうか。今われわれを取り巻く環境はかつてないほど急激に変化しています。新しいICT（情報通信技術）がもたらす変革、いわゆるDX（デジタルトランスフォーメーション）は世界を席卷しつつあり、あらゆる産業や社会生活を大きく変え始めています。海の向こうでは、世界に影響を与えるアメリカ大統領選も行われます。平穏を望みつつも、今年も激動の一年となるであろうことは想像に難くありません。

しかしながら、世の中が時々刻々と変化し、ビジネス環境や社会生活がスピードをあげて変貌していく中であっても、安全に働き、健康で心豊かな生活の実現を追求していくことが求められます。いかなる時代であろうと、また環境の変化が起ころうとも、常に優先されるべきは「働く者の安全と健康」の確保です。会員企業の皆様には、「安全で安心して働ける職場環境」の構築に向けて、引き続き「働き方改革」や「健康経営」を推進していただきますようお願いする次第です。

昨年、新語・流行語大賞にラグビー日本代表のスローガンであった「ONE TEAM（ワンチーム）」が選ばれました。どんな強豪チームであっても選手たちの思い、心が一つにならなければチームとして機能しないということであり、職場においても良質なコミュニケーションがなければ良い仕事ができないし、良い風土も醸成されないということではないでしょうか。お互いを理解し合い、尊重し合ってこそ「働きがいのある、働きやすい職場環境」が作られるのだと思います。

王子労働基準協会は昨年設立60周年を迎えたのを機に「公益社団法人東京労働基準協会連合会」への組織統合を行い、「王子労働基準協会支部」として新たなスタートを切りました。協会発足時の趣意を堅持しながらも、連合会のスケールメリットや多彩な事業メニューを享受し、一層充実した支部としての活動を今後も推進して参りたいと思っております。

また、この4月からは同一労働同一賃金をはじめとした「働き方改革関連の法律」や「健康増進法」などの改正も行なわれます。当協会としても、今後の労働基準行政の動向を睨みつつ各種施策を推進して行くとともに、会員企業の皆様のお役に立つことを基本姿勢に事業運営を行って参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

結びに、会員企業の皆様にとって新しい年が平穏で幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も何卒よろしくようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

王子労働基準監督署長 新名 準 一 郎



令和2年の新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

東基連王子労働基準協会支部並びに会員事業場の皆様には、日頃より労働基準行政について、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

貴協会支部におかれましては、昨年、東基連との組織統合がなされ、その後、支部の業務も順調に運営をなさっていることにつきましてお慶び申し上げます。

当署労働基準行政の主な役割は、改正労基法等に基づく長時間労働の是正や賃金など労働条件の確保、労働者の健康と安全の確保、労災保険の適正・迅速な給付ということであることから、本年もこれらの行政課題に取り組みます。

働き方改革につきましては、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により労働基準関係法令が改正されました。年次有給休暇の年5日の確実な取得や大企業における時間外労働の上限規制等については、昨年4月から施行されております。中小企業における時間外労働の上限規制につきましては、適用猶予されるものを除き本年4月から施行されることとなっております。当署としましても説明会の開催など丁寧かつ集中的に周知を行い、円滑な施行に取り組みます。

さらに、国を挙げての一大イベントである東京オリンピック・パラリンピックがいよいよ今年開催されます。各種工事が仕上げに向けて急ピッチで進められる中、インフラ工事が盛んに行われる時期は、全般的に労働災害が急増することが懸念されましたが、昨年の当署の全業種における労働災害は、令和元年11月末現在で死傷災害142件（平成30年同期比43件減、同23%減）と減少傾向であります。これもひとえに会員事業場をはじめ管内事業場の労使の方々のご尽力の結果であると思えます。

当署では、本年も「『働き方改革』の推進などを通じた労働環境の整備・生産性の向上」と「労働災害の防止」を軸にして、行政課題に的確に対応し、懇切丁寧な窓口対応など行政サービスの向上にも努めて参りますので、これまでと変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

結びに、貴協会支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念致しまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

令和2年 新春賀詞交歓会



王子労働基準協会支部 高坂支部長

令和2年新春賀詞交歓会が、1月22日（水）午後4時より、北とぴあ14階（スカイホール、カナリアホール）において開催されました。東京都北区より花川区長様、東京都北区議会より渡辺区議会議長様、王子労働基準監督署新名署長様、をはじめとした、多数のご来賓、会員皆様のご出席をいただきました。

第一部は、王子労働基準協会支部高坂支部長の挨拶で始まり、王子労働基準監督署新名署長様のご挨拶の後、田原労務管理事務所、田原さえ子氏による「働き方改革関連法のポイント」と題する特別講演がありました。



王子労働基準監督署 新名署長様



王子公共職業安定所 工藤所長様



花川北区長様



渡辺区議会議長様

第二部懇親会は王子公共職業安定所工藤所長様、花川区長様、渡辺区議会議長様、建設業労働災害防止協会東京支部北分会石井副分会長様、(一社)北産業連合会齊藤会長様、(公社)東基連安全衛生研修センター上島次長様、北区医師会増田会長様より、ご挨拶、ご祝辞をいただいた後、東日本旅客鉄道(株)東京支社、土佐副支部長より乾杯の発声で祝宴となりました。

その後、短い時間でしたが、ご来賓の方々、会員相互の皆様、和気あいあいに過ごされのち、(株)館野機械製作所植野会計幹事の中締めで散会となりました。



建設業労働災害防止協会 東京支部北分会 石井副分会長様



(一社)北産連 齊藤会長様



(公社)東基連 上島次長様



乾杯 土佐副支部長



北区医師会 増田会長様



中締め 植野会計幹事

令和元年度 安全衛生表彰式



主催者と表彰された皆様方

令和元年11月11日(月)、令和元年度の安全衛生表彰式が(株)日刊スポーツPRESS王子工場研修ホールにて開催されました。

主催者である王子労働基準監督署新名署長、(公社)東基連王子労働基準協会支部高坂支部長、建設業労働災害防止協会東京支部北分会越野分会長の挨拶の後、表彰式が執り行われました。

この表彰式は北区管内の産業安全活動の活性化と管内事業場における労働衛生管理の充実を図る目的で毎年開催されているもので、本年度も労働衛生管理の向上に実績のあった、3事業場、並びに個人5名の方が表彰されました。

いずれの事業場でも地道な安全衛生管理活動が積上げ・継続されており、今回の表彰となったものでした。表彰された事業場並びに個人の皆様方には今後も安全衛生管理活動の更なる向上に寄与されることをお願い申し上げます。

なお、本年度の特別講演は少し趣向を変えてジーオービー株式会社で活動している安全啓蒙活動チーム「SGコスモス(主に建設現場で安全啓蒙活動を行っている女性チーム)」さんに「安全劇」(ヒューマンエラーの落とし穴～ベガレンジャー編)を上演して頂きました。

○表彰受賞者は次の方々です。

王子労働基準監督署長賞

個人賞 株式会社館野機械製作所 植野 晃 氏
株式会社田口工務店 窪田 真一 氏

(公社)東基連 王子労働基準協会支部長賞

事業場賞 アサノコンクリート株式会社浮間工場
朝日信用金庫西巣鴨支店
株式会社トンゴ鉛筆

個人賞 日本特殊塗料株式会社 近藤 博文 氏
中外製薬株式会社浮間事業所 原田 浩志 氏

建設業労働災害防止協会東京支部北分会長賞

個人賞 株式会社石井設備工業 太田 秀明 氏



王子労働基準監督署 新名署長



(公社)東基連 王子労働基準協会
支部 高坂支部長



SG コスモスのみなさん方 (指さし呼称のサインです)



建設業労働災害防止協会東京
支部北分会 越野分会長

監督署だより

☆上限規制を踏まえて36協定の適正な締結にご留意ください

【36協定の届出様式が新しくなりました！】

働き方改革関連法の施行により、時間外労働の上限規制等については、大企業は昨年4月から施行されていますが、いよいよ中小企業においても本年4月から施行されます。

時間外労働の上限については、**月45時間、年360時間**を原則とし、臨時的な特別な事情がある場合でも**年720時間、単月100時間未満（休日労働含む）、2～6か月平均80時間（休日労働含む）**が限度となっています。

◎詳しくは厚生労働省または東京労働局のホームページをご覧ください



1 36協定届の書式の新様式について

新様式の種類は、①様式9号（特別条項がないもの）、②様式9号の2（特別条項があるもの）③様式9号の3（新技術・新商品等の研究開発業務）、④様式9号の4（建設事業、自動車運転者の業務、医師等）があります。

特に、旧書式においては特別条項の有無にかかわらず、同一の様式でしたが、新様式においては特別条項の有無によって書式が異なり、特別条項のある36協定の様式9号の2では2枚目に特別条項について記入することになっています。

運輸交通業の場合、自動車運転者は様式9号の4であったとしても、運行管理者や事務員等につきましては自動車運転者の業務ではないことにより様式9号（特別条項の場合は9号の2）に係る事項の届出が必要になります。

2 協定の有効期間、起算日（1年間の上限時間を計算する際の起算日）について

中小企業は、協定の有効期間の始期が令和2年3月末までのものは従前の様式で届出ができますが、有効期間の始期が令和2年4月1日以降となる36協定は、新様式で届出をする必要があります【下図の①参照】
また、特別条項付きの36協定につきましては、1枚目と2枚目にそれぞれ起算日（1年間の上限時間を計算する際の起算日）の記入欄がありますので、それぞれ適正に締結した上で記入してください【下図の②参照】

36協定届の記載例

(様式第9号(第16条第1項関係))

◆ 36協定で締結した内容を協定届(本様式)に転記して届け出てください。

◆ 36協定の届出は電子申請でも行うことができます。

◆ (任意)の欄は、記載しなくても構いません。

労働時間の延長及び休日の労働は必要最小限にとどめられるべきであり、労使当事者はこのことと十分協議した上で協定するようしてください。

なお、使用者は協定した時間数の範囲内で労働させた場合であっても、労働契約法第5条に基づき安全配慮義務を負います。

◆ 36協定届(本様式)を用いて36協定を締結することもできます。その場合には、労働者代表の署名又は記名・押印が必要です。

◆ 必要事項の記載があれば、協定届様式以外の形式でも届出できます。

表面		時間外労働に関する協定届		労働保険番号		法人番号	
様式第9号(第16条第1項関係)		事業の種類	事業の名称	事業の所在地(電話番号)		協定の有効期間	
		金属製品製造業	〇〇金属工業株式会社 〇〇工場	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町1-2-3 (電話番号: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)		〇〇〇〇年4月1日から1年間	
時間外労働	① 下記②に該当しない労働者	受注の集中	設計	10人	7.5時間 3時間	3.5時間 30時間	40時間 250時間
	② 1年単位の变形労働時間により労働する労働者	臨時の受注、納期変更	機械組立	20人	7.5時間 2時間	2.5時間 15時間	25時間 150時間
		製品不具合への対応	検査	10人	7.5時間 2時間	2.5時間 15時間	25時間 150時間
		月末の決算事務	経理	5人	7.5時間 3時間	3.5時間 20時間	30時間 200時間
休日労働	② 1年単位の变形労働時間により労働する労働者	欄印	購買	5人	7.5時間 3時間	3.5時間 20時間	30時間 200時間
		受注の集中	設計	10人	7.5時間 3時間	3.5時間 30時間	40時間 250時間
		臨時の受注、納期変更	機械組立	20人	7.5時間 2時間	2.5時間 15時間	25時間 150時間

協定の成立年月日 〇〇〇〇年 3月 12日

協定の当事者である労働組合の名称(事業場の労働者の過半数で組織する労働組合)又は労働者の過半数を代表する者の職名氏名 検査課主任 山田花子

協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法(投票による選挙)

〇〇〇〇年 3月 15日

労働基準監督署長 〇〇

使用者 職名 工場長 田中太郎

① 有効期間の起算日について、1年間を超えないこと。

② 1年間の有効期間にかかわらず、起算日は同一の日である必要があり、1年間の有効期間を超えないこと。

③ 協定の当事者である労働者の過半数を代表する者の職名氏名、検査課主任 山田花子、投票による選挙、労働者代表の署名又は記名・押印が必要です。

3 労使で確認の上チェックボックスのチェックについて【協定届の右下、記載例の図の③参照】

所定休日 (任意)	労働させることができる 法定休日の日数	労働させることができる法定 休日における始業及び終業の時刻
土日祝日	1か月に1日	8:30~17:30
土日祝日	1か月に1日	8:30~17:30

時間未満でなければならず、かつ2箇月から6箇月までを平均して80時間を超過しないこと。
(チェックボックスに要チェック)

時間外労働と法定休日労働を合計した時間数は、月100時間未満、2～6か月平均80時間以内でなければいけません。これを労使で確認の上、必ずチェックを入れてください。チェックボックスにチェックがない場合には、有効な協定届とはなりませんのでご注意ください。

- ・ その他の協定事項も含めて、ご質問ご不明な場合には、当監督署までお問合せください。
(担当部署方面電話：03-6679-0183)。

☆中小企業事業主の皆様へ個別に訪問説明をいたします

労働基準法の基礎知識から上記36協定等を含む改正労働基準法の内容まで、働き方改革の進め方にお悩みの中小企業の事業主又は労務責任者に対し、当署の職員(相談・支援担当)や東京働き方改革推進支援センターの専門家が個別に訪問して、丁寧に説明します。費用はかかりません。

法違反などの指導を目的に行うものではありませんので、まずは、下記までお気軽にお問い合わせください。

王子労働基準監督署 労働時間相談・支援コーナー TEL 03-6679-0183

☆転倒災害増加！転倒災害防止の重点的な取組をお願いします。

転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への共有を図ることが大切です！

危険場所にステッカーの掲示を行うなど、転倒の危険を見える化しましょう！

また冬期は、積雪・凍結を原因とする、転倒災害、自転車及び車両(オートバイク含む)運転中の交通労働災害、建物屋根等の除雪作業中の墜落・転落災害等の労働災害が懸念されます。

都内では、労働者が積雪や凍結に不慣れであることに留意し、天候急変に対処できるよう情報収集や早目の準備等、転倒災害等防止の取組をお願いします。

転倒災害の原因は、滑りが最も多く、滑りの原因は水・氷が半数以上を占めています。

滑りによる転倒の発生場所は、駐車場、建物入口、坂道、屋外の階段などのほか、屋内でも雪に濡れた床面などで多く発生しています。

事業者は、職場の転倒災害防止対策を進めていただくとともに、適時にチェックリストを活用した点検を行い、安全委員会などでの調査審議などを経て、職場環境の改善を図ってください。

・転倒災害防止のためのチェックシートや、より具体的な対策については、STOP! 転倒災害プロジェクト特設サイトで入手できます。「STOP転倒」で検索してください。

STOP 転倒

検索

会員事業場紹介

事業場名：東京化成工業株式会社 王子研究所

所在地：東京都北区豊島 6-15-9

事業内容：有機試薬およびファイン&
スペシャリティケミカルズの製造販売、
受託合成

従業員数：570名（国内関連会社含む）



王子研究所光景

会社紹介

当社は1894年に和漢薬の卸業として創業、戦後の1946年に現在の社名である東京化成工業として試薬の製造へと転進し、今日へ至っています。試薬とは研究開発、検査などに利用される化学薬品で、とりわけ当社は特殊で希少な試薬を品揃えする試薬メーカーとして研究者の方に認知いただいています。また、長年培ってきた高い技術力とノウハウを活かし、ファイン&スペシャリティケミカルズや受託合成等にも積極的に取り組んでいます。

王子研究所においては、東京化成工業の発祥の地としてこれまで様々な業務を行っていましたが、近年は研究所としての機能に特化し、有機合成試薬のみならずライフサイエンス、糖鎖合成、マテリアルサイエンス等様々な分野の研究開発を行っています。近年、グローバル化を積極的に推進し海外の売り上げが多くを占める今日に至っても、世界の研究者の方への発信拠点として、より一層存在価値を高め発展しています。

安全衛生に関する取り組み

当社の製品は、研究用試薬という性質からそのラインナップは多岐にわたります。そのため、研究開発を行う上で多種多様な化学物質を扱うことが求められ、事前にそれらの性質・危険性を理解してリスクマネジメントを行う必要があることから、当社他事業所との連携によるSDSを基にしたリスクアセスメントの実施、作業時の保護具着用を徹底しています（写真1）。

さらに、王子消防署にご協力いただき、毎年、非常時に備えて避難訓練、消火訓練、AED講習を実施することで安全対策に万全を期しています（写真2）。また、半年に1度、作業環境測定と特殊健康診断を実施することで健康管理にも努めています。加えて、産業医の先生と共に定期的に職場の巡回を行い、安全衛生面での改善点をご指導いただくことで、良好な作業環境の推進を図っています。



写真1. 保護具着用での実験



写真2. 消火訓練の様子

協会だより 11月～1月の主な事業活動

11月

- ★ 11・5 会報第238号発刊
- ★ 11・11 令和元年度安全衛生表彰式
(日刊スポーツ印刷社研修室)
- ★ 11・26 第2回労務管理講習会
(王子工業会館会議室)
- ★ 11・28 令和元年度優良事業場見学会
(共催・上野、足立・荒川労働基準協会支部、見学地：(株)トッパンパッケージプロダクツ群馬工場
(株)日本キャンパック)

12月

- ★ 12・18 会報第239号編集会議
(王子労働基準監督署)

1月

- ★ 1・11 北区医師会賀詞交歓会
(池袋 ホテルメトロポリタン)
- ★ 1・22 令和2年新春賀詞交歓会
(北とぴあ 14階)
特別講演「働き方改革関連法のポイント」
田原労務管理事務所
所長 田原 さえ子 氏



優良事業場見学会参加の皆様

編集後記

総務部会 幹事 山田 和彦
(株式会社ヨコオ)

令和2年の新年を迎え、会員のみなさまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和となり20～30年のスパンで出来事を振り返る場面が多く、世界、日本、身の回りの生活など環境変化の大きさを実感されたのではないかと思います。このような環境下で労働安全衛生も継続的に改善（マネジメント）していくことになることと思います。

マネジメントの一例としては、2018年3月に発行されたISO45001：労働安全衛生があり、特長は事業環境変化に対し、戦略的にリスクと機会を分析することで、組織として力を入れるポイントが絞られ、効果的にパフォーマンスを向上できる点にあります。

言い換えれば、組織の目的や成長戦略の意図した成果に対して、労働安全衛生の側面から、どのような内部・外部の課題や働く人などの利害関係者のニーズ・期待があるかを評価して、活動を絞り込み取り組んでいくことになります。

安全、健康、働き方というわかりやすい言葉から、組織のトップから作業員までを含めた働く人が一体となって、より良い職場づくりに向けた活動の一助にいただければと思います。

昨年の流行語大賞になった「ONE TEAM」は、ダイバーシティが進んでいく中でも、ヘッドコーチ・選手・スタッフが各々の役割を機能させチームとして結束し、心を一つに活動することの素晴らしさを示してくれました。

みなさまの組織も「ONE TEAM」となって意図する素晴らしい成果が残せる一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

最後に、風邪やインフルエンザが流行る季節になります。

普段から十分な栄養と睡眠を取って抵抗力を高め、手洗い・うがいを行って予防に努めてください。



Johoku
Shinkin

夢をかなえるパートナー

城北信用金庫

理事長 大前孝太郎

王子営業部	〒114-8522	東京都北区豊島1-10-10	TEL03-3913-1151
赤羽支店	〒115-0045	東京都北区赤羽2-1-9	TEL03-3902-1151
十条支店	〒114-0031	東京都北区十条仲原3-13-1	TEL03-3907-1151
東十条支店	〒114-0001	東京都北区東十条3-15-13	TEL03-3927-1161
駒込支店	〒114-0015	東京都北区中里2-21-3	TEL03-3940-1151
浮間支店	〒115-0051	東京都北区浮間3-18-6	TEL03-3965-1151
赤羽西口支店	〒115-0055	東京都北区赤羽西1-40-5	TEL03-5993-1251
梶原支店	〒114-0004	東京都北区堀船3-31-9	TEL03-3914-5611
尾久駅前支店	〒114-0011	東京都北区昭和町2-8-1	TEL03-3894-4141

北区内9店舗

<http://www.shinkin.co.jp/johoku/>

響きあう心、ずっと、ずっと

私達は、感性を磨き、互いに思いやり、協調し、邁進します。
期待される私であるために、期待される会社であるために。



図書印刷株式会社

〒114-0001 東京都北区東十条3-10-36
TEL 03(5843)9700
URL <http://www.tosho.co.jp/>

未来を見据えて 進化し続ける



教育の印刷・信頼の技術

 株式会社リーブルテック



本社：〒114-0004 東京都北区堀船 1-28-1 tel：03-3927-6411 (代)
工場：〒347-0004 埼玉県加須市古川 2-3-1 tel：0480-68-4761
<http://www.livrettech.co.jp/>



一日でも早く。一駅でも多く。
ホームドアで、より安心な毎日を。

ホームドアの設置は、荷重を支えるホームの補強工事が要だ。
終電後の約2時間を積み重ね、駅の構造に合わせた補強を施し、
入念に機器を調整して、はじめて稼働の準備が整う。
「すべてのお客さまが、より安心できる駅ホームを」
その思いを力に変え、今夜も着実にプロジェクトを進める。

いちばん乗りたい鉄道会社へ

サービス品質
よくする
プロジェクト
ホームドア編

JR東日本グループは、お客さまの声に耳を傾け、サービス品質の向上に取り組んでいます。

